

## 第2章 基本的な考え方

### 1 教育理念と教育目標

本計画は、「光市教育大綱\*」を具現化するために、その取組みを示すものです。

策定にあたっては、「光市教育大綱\*」で定めた教育理念、教育目標、教育行政推進上の柱とする5つの基本目標等を示した上で、その実現に向け、重点的に取り組む施策の方向性や施策体系を明らかにし、具体的な施策や取組みを定めます。

#### ■ 教育理念

##### 連携と協働で育む 光の教育

本市では、幼保・小・中学校の連携\*による15歳までを見通した「学び」と「育ち」をつなぐ“縦の連携”と、すべての公立小・中学校がコミュニティ・スクール\*として、学校、家庭、地域が一体となった“横の連携”を両輪として、同時進行による連携・協働を重視した教育を展開しています。こうした中、さらなる連携・協働の視点を持ち社会総掛かりによる人づくりの実現を図るべく、本市における教育理念を「連携と協働で育む 光の教育」として掲げ、教育の振興を図ります。

#### ■ 教育目標

##### 夢と希望にあふれ 未来へ輝く「光っ子」の育成

本市の未来を担う人づくりを進めるにあたり、教育理念を踏まえ、光市をこよなく愛し夢や希望に向かって一人ひとりがひかり輝き、心ゆたかにたくましく生き抜く人々の育成を目指し、教育目標を「夢と希望にあふれ 未来へ輝く『光っ子』の育成」として、総合的に教育施策を推進します。

#### 「光っ子」のすがた

教育目標の実現にあたり、「光っ子」のすがたとして、成長段階に応じた次の3つの目標像を掲げ、生涯にわたって学び続ける本市の人づくりを進めます。

##### ● 知・徳・体の調和がとれた「生きる力\*」を身に付け、人とつながりながら社会を生き抜く人

今日の変化の激しい社会を自立的に生きるために必要な「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」など「知・徳・体」の調和がとれた「生きる力\*」を身に付け、人と関わりながら社会の一員としての自覚を高め、たくましく生きる人

##### ● ふるさとに誇りと愛着をもち、グローバルな視点に立って夢に挑戦する人

ふるさと光市の文化・自然を愛し、多彩な芸術・文化活動をとおして、国際感覚豊かに幅広い視野で考え行動し、自らの夢の実現に向かって挑戦する人

##### ● 生涯にわたり学ぶ意欲に満ち、スポーツに親しみ健やかで社会に貢献する人

生涯を通じて楽しく学び、自らを高めるとともに、心身ともに健康で生き生きと暮らし、学んだ知識や経験を主体的に地域などで活かしながら多様な人々をつなぐ人

## 2 基本目標と基本施策

教育理念及び教育目標を踏まえ、教育施策を実施するにあたり、5つの基本目標を教育行政推進上の柱として掲げるとともに、基本目標ごとに次の基本施策を設定し、その実現を図ります。

### 基本目標 1

#### 「生きる力\*」を育む地域ぐるみの教育の推進

- 基本施策 1-1 質の高い幼児期の教育・保育の推進
- 基本施策 1-2 連携と協働で育む学校教育の推進
- 基本施策 1-3 教育開発研究所における先導的調査研究の推進

### 基本目標 2

#### 絆を育む つながりをとおした家庭教育支援の推進

- 基本施策 2-1 地域ぐるみの子育て支援の充実
- 基本施策 2-2 組織的な家庭教育支援の充実

### 基本目標 3

#### ゆたかな心と郷土愛を育む教育の推進

- 基本施策 3-1 人権尊重の意識を高める人権教育の積極的な推進
- 基本施策 3-2 学校・家庭・地域のつながりを基盤とした社会教育の推進
- 基本施策 3-3 芸術・文化活動の振興と地域文化の保存・活用・継承

### 基本目標 4

#### 生涯を通じて学ぶ意欲と健やかな心と体を育む環境づくりの推進

- 基本施策 4-1 学ぶ・活かす・つながる生涯学習社会\*の推進
- 基本施策 4-2 市民の身近にある学びと憩いの拠点を目指した図書館機能の充実
- 基本施策 4-3 生涯にわたってスポーツに親しみ、楽しめる環境の充実
- 基本施策 4-4 子どもたちの健やかな心と体を育む学校給食の充実

### 基本目標 5

#### 安全・安心で質の高い教育環境の整備・充実

- 基本施策 5-1 安全・安心な教育環境の整備・充実
- 基本施策 5-2 学習に集中できる質の高い教育環境の整備・充実

### 3 「教育ブランドひかり\*」の創造

基本目標の実現に向けた諸施策を進めるにあたり、特に子どもたちの教育に焦点を当てて重点的に取り組む6つの教育戦略を「教育ブランドひかり\*」と名付けます。

本計画では、これらの戦略の方向性を明らかにするために、次の具体的な取組みを通して、教育の光ブランドを創出し、「教育ブランドひかり\*」の創造を図ります。

1

#### 人と人とのつながりをとおして ゆたかな心を育む教育の推進

学校、家庭、地域における様々な人と人とのつながりや多様な体験活動をとおして、コミュニケーション力や人間関係調整力等の育成を図るとともに、互いの人格を尊重した態度や言動ができ、人を尊ぶ子どもを育てます。

- 子どもの心身の成長の過程に即し、学校の教育活動を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を組織的、計画的に推進します。
- 道徳性を高めることを目標として、「特別の教科 道徳」の学習における「考え、議論する道徳」への質的転換を図るとともに、地域や学校間の連携による体験活動を充実させます。
- ふるさとを大切にする心の育成を目的として、子どもたちが信頼できる大人と多く関わりながら様々な経験を重ねるコミュニティ・スクール\*の取組みを進めます。
- 地域の社会活動や集団の中での奉仕活動、野外活動、レクリエーション等に参加、協力し様々な体験活動を通して、協調性や思いやりなどの豊かな人間性、規範意識などの社会性を育む、中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブ\*の活動を推進します。

2

#### 学力向上を目指すチーム光\*による授業づくり「ラーニング光\*」の実践

コミュニティ・スクール\*や学校間・校種間連携を基盤としたチーム光\*による、主体的・協働的な学びを重視した新たな学習スタイル「ラーニング光\*」の開発・実践をとおして、子どもたちが課題を発見し協働的に課題を解決する子ども主体の授業づくりの基盤を確立し、学力の向上を図ります。

- 学力向上推進リーダーや推進教員\*、小学校間の連携、小・中学校の連携、地域の教育力の活用等の総合力を基盤としたチーム光\*による実践を通して、授業力の向上、組織的な取組みの充実、学習規律の徹底を図り、子ども一人ひとりが「わかる授業」を目指します。
- 授業力の向上を図る授業展開「光スタンダード\*」による学習課題の共有、学習活動の活性化、振り返りの充実を重視した授業づくりを基本に、主体的・対話的で深い学びの視点に立ち、個々の課題や実態に応じて授業改善を重ねていく学習スタイル「ラーニング光\*」を推進します。

## 3

## コミュニケーション能力の育成を目指す英語教育「イングリッシュプラン光\*」の実践

小・中学校の学びの連続性を活かした英語教育「イングリッシュプラン光\*」のカリキュラム開発・実践をとおして、グローバル化の進展に対応する英語学習を構築し、子どもたちが英語を積極的に使おうとする態度や英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図ります。

- 研修会の充実による教職員の専門性の向上を図るとともに、小・中学校において学習過程の共有を図る授業モデル「English 4 Step\*」の活用やクラスルームイングリッシュ\*を通して、系統性のある英語教育を展開します。
- 子どもたちが英語にふれる機会や英語によるコミュニケーションの充実を図るため、小学校低学年からの外国語活動\*の導入、長期休業を活用した英語体験型ワークショップ「イングリッシュキャンプ光」を実施します。
- 外国でのホームステイによる生活体験を通して、生活習慣・文化・語学等幅広い知識を身に付け、国際感覚の育成を図るため、「中学生等海外派遣事業」を実施します。
- 伊藤博文公生誕のまちとして、伊藤公が残した数々の功績の中の1つである、英語の必要性や英語による表現の重要性を次世代に継承するため、「伊藤公カップ英語スピーチコンテスト\*」を開催します。

## 4

## 光市の美しさ 魅力 未来の輝きに迫る「光市民学\*」の開発と活用

小・中学校の教科、領域を横断したカリキュラムとして、光を探究する学び「光市民学\*」の開発・活用をとおして、光市の未来を切り拓き、その素晴らしさを発信できる子どもの育成を図ります。

- 光市を知り、学ぶための教材の研究及び開発を行います。
- 光市の人材・資源の積極的な活用を通して、身近な地域を含む社会とのつながりを重視する総合的な学びを目指した小中一貫型のカリキュラムづくりを進めます。
- 学校における地域学習として、光市をテーマとした学習を進め、ふるさとを愛する心を育成します。
- 地域を知り、地域を語り、地域をより良くしようと実践ができる子どもの育成を図ります。

## 5

## 地域とともにある次世代型コミュニティ・スクール\*の推進

「15歳は地域の担い手」を合い言葉に、学校、家庭、地域が連携・協働し、社会総掛かりの教育の実現を図るため、学校が地域社会の中で役割を果たし、地域とともに発展していく活力ある学校づくりを推進します。

- 中学校区を単位とする、学校・家庭・地域の連携・協働の取組みを推進します。
- 各学校区の学校運営協議会\*が学校課題の解決の場として活性化するよう、運営の質の向上を図ります。
- 地域との望ましいコミュニケーションを通して、子どもたちのふるさとを愛する心を育成します。
- 地域行事への児童生徒の主体的、積極的な参加を図ります。
- 保護者や地域住民の学校の教育活動への積極的な参加を図ります。

## 6

## 「学び」や「育ち」を支える小中一貫教育\*へのアプローチ

適正規模・適正配置や教育環境の充実、教育力の維持向上などの観点から、光市立小・中学校の将来の在り方について検討し、義務教育のさらなる質的向上を図る学校づくりを推進します。

- 小・中学校9年間を見通したカリキュラムを作成し、連続性、適時性のある教育活動を進めます。
- 中学校区を単位としたネットワークの中で、小・中学校が共通の教育目標（目指す子ども像）を共有し、子どもの「学び」と「育ち」を系統的かつ一体的に支援します。
- 平成30年3月に策定した「光市立学校の将来の在り方に係る基本構想\*」に基づき、全市立小・中学校において連携・協働を基盤とした小中一貫教育\*をスタートします。子どもたちは現在の小・中学校に在籍しながら、現状の施設を活用しつつ、中学校区を単位とした小中一貫型の小学校・中学校を開始します。